

1 事業報告

(1) 分譲事業

勤労者等を対象とした良質な住宅用地を求めやすい価格帯で供給を行った。

① 販売

引渡数 50 区画 (宅地分譲事業収入 344,745,000円)

単位：区画

所在地 (市町村名)	区 分	総区画数	募 集 数 区 画 数	契 約 数 ※ 下段 () は 契 約 目 標 数	引 渡 数 (損 益 計 上)
山形市	公 社 タ ウ ン 蔵王みはらしの丘	230	44	37 (31)	50
計		230	44	37	50

② 助成・管理

単位：円

所在地 (市町村名)	団 地 名	金 額	摘 要
山形市	公 社 タ ウ ン 蔵王みはらしの丘	13,702,888	UIJターン者及び県産木材等使用の 住宅購入者への助成など「やまがた 創生」支援制度に基づく助成金 管理費など

(2) 地域づくり支援事業

人口減少対策等のやまがた創生推進に向け市町村との連携のもと、すまい・まちづくり関係の地域づくり推進に努めた。

① まちの再生支援事業 事業費 2,293,000円

鶴岡市との連携により老朽空き家解体跡地の子育て世帯等への販売並びに新規物件の解体等を行った。

[業務内容] 老朽空き家の敷地測量及び解体等（令和元年度解体物件）

販売用看板の更新（平成26年度解体物件）

※ 実績 単位：件

年度		平成					令和 元
		26	27	28	29	30	
鶴岡市	解体	1	1	1	-----		1
	譲渡契約		-----		→ 1	→ 1	

② 空き家の利活用促進 事業費 計 12,720,335円

ア 県、市町村及び東北芸術工科大学との協定に基づき空き家の利活用による良好な地域づくりに寄与するため、次の事業を行った。

a 空き家買取り再販モデル事業（12,355,710円）

上山市からの要請により、買い取った空き家の解体跡地を子育て世帯に販売した。

また、遊佐町からの要請により、買い取った空き家をリノベーションし、子育て世帯に売り出した。

b 空き家利活用推進事業（168,000円）

鮭川村からの委託を受け、子育て世帯向け賃貸住宅として空き家を利活用するための現地調査、平面図等図面作成、耐震診断、補強計画作成など技術面からの支援を行った。

イ 空き家相談窓口事業（196,625円）

県及び県宅地建物取引業協会等で構成する空き家活用支援協議会が老朽空き家の利活用促進を目指し、次の取組みを行った。

- 相談員研修 参加者 35名
- 空き家無料相談会 相談者 46名

[米沢市2回、天童市、東根市、尾花沢市、白鷹町、飯豊町、庄内町、遊佐町で開催]

③ 市町村施設の整備支援

事業費 計 424,571,297円

ア 立替施行 (423,189,297円)

山形市及び朝日町において次の事業を実施した。

a 山形市

- ・ 南部への児童遊戯施設整備事業 (平成30年度～令和2年度)
用地取得、造成工事等業務 (287,092,297円)
- ・ 道の駅「(仮称)蔵王」整備事業 (令和元年度～令和3年度)
用地測量、地質調査等業務 (23,089,000円)

b 朝日町

- ・ 町営住宅清水ハイツ改修事業 (平成30年度～令和元年度)
改修工事、工事監理等業務 (113,008,000円)

イ 技術支援〔発注者支援〕 (1,382,000円)

南陽市からの委託を受けハイジアパーク南陽施設の状況調査業務に関し技術的な支援を行った。

④ 市町村営住宅の管理支援

事業費 5,986,000円

朝日町営住宅97戸の維持修繕等の技術的支援や入居資格審査、家賃算定等の管理を行った。

⑤ 定住促進に向けた宅地開発

事業費 3,927,000円

中山町及び川西町からの要請により若者世帯等の定住を促進するための住宅団地整備に向けて、基本的事項を把握するための基本調査を行った。

(3) 資産の有効活用

山形市内の公社分譲地の利便性向上等を図る目的で、公社保有の土地等を業務用及び居住用として賃貸している。

・ 業務用地等	[22箇所、面積 60,709㎡]	賃料収入	131,746,480円
・ 居住用地	[25箇所、面積 8,165㎡]	賃料収入	5,595,600円
		賃料収入計	137,342,080円